諸井恒平

若い頃から実業家としての才能を発揮。16歳で本庄生糸改所頭 取、24歳で本庄郵便局長に就任しました。明治20年(1887)には、 親戚の渋沢栄一の勧めで日本煉瓦製造株式会社に勤務し、同40 年(1907)には専務取締役となったほか、武甲山の石灰石に着目し、 大正12年(1923)、秩父セメント株式会社を設立。経営者として の手腕を振るう中、人材の育成にも貢献しました。

Tsunehei Moroi (1862-1941)

Businessperson. While exercising his skills as an entrepreneur, he also contributed to the development of human resources.



諸井家住宅と初代本庄郵便局



木村九蔵

27歳のとき、「一派温暖育」という蚕の飼育法を考案。広く養蚕 の改良普及を行うため、明治10年(1877)には養蚕改良競進組 を結成しました。同17年(1884)には組織を拡大して養蚕改良 競進社と改め、さらに、事務所と伝習所を開設。その後、児玉白 楊高等学校の前身ともいえる競進社蚕業講究所を設立するなど、 生涯をかけて養蚕業や蚕業教育の発展に尽力しました。

Kuzo Kimura (1845-1898)

He invented the "ippa ondaniku" method of rearing silkworms, and contributed to the development of sericulture (raising silkworms).



明治時代の競進社



木村九蔵 [1845-1898]

石川三四郎

明治9年(1876)生まれ。社会運動家として活動を続けてきた 三四郎は、明治36年(1903)「平民社」に合流し、平民新聞等を通 じて「非戦論」を訴えました。また、政府を無くし相互扶助を基調 とする社会の実現を提唱した「アナキスト」としても知られ、生涯を 通して無政府主義思想による平和をうたい続けました。市立図書 館には、石川三四郎資料室が設けられています。

Sanshiro Ishikawa (1876-1956)

Social activist. Throughout his life, he continued to call for peace through anarchism



石川三四郎資料室



石川三四郎 [1876-1956]

本庄普一

長崎に留学し、西洋医学を学び、眼科、内科、外科医として全国的に 名声を得ました。江戸時代末期に本庄宿で開業し、多くの門弟を指 導する一方、文人としても活躍しました。

Fuichi Honjo (1798-1846)

Ophthalmologist, physician, and surgeon who gained nation-wide

久米逸淵

小林一茶らと交流を持つなど、江戸で積極的に活動した俳諧第一人 者。引退後は本庄へ戻り、郷里児玉の八幡神社に念願の鉄製の芭蕉 句碑を建立、また句集「すみれ塚集」を刊行しました。

Itsuen Kume (1790-1861)

The leading expert of Haikai (seventeen-syllable verse) who actively worked in Edo.

江戸時代の発明家 庄田 門弥

旧北堀村(現本庄市北堀)の百姓で発明家。 享保14年(1729)以前に「陸船車」を考案し て、徳川将軍吉宗に献上したといわれてい ます。



世界最古の自転車の機能を有する乗り物。時速 約14km、坂も登ることができたといわれています。



佐藤虎次郎

16歳で横浜へ、21歳でアメリカ留学し、帰国後、紀州の山林財閥佐 藤家の婿養子に。その後、オーストラリアの木曜島に佐藤商会を設 立し、天然真珠の採貝事業を始め大成功をおさめました。

Torajiro Sato (1864-1928)

Businessperson who ran a wide-range of businesses in Australia.

参考:埼玉人物事典/本庄人物事典/歴史民俗資料館研究紀要第4号/埼玉県ホームページ「埼玉ゆかりの偉人データベース」

方子了子己一記念館 Hanawa Hokiichi Memorial Museum

記念館

保己一の遺品や関係資料を収蔵展示し、保己・ の残した偉業について紹介しています。

野に生まれました。

大志を抱いて江戸

雨富検校の弟子となりまし

ーは、

15歳の時

国学の発展

に尽

世のため、

後のため」

の志の

大事業を成

し遂げ

た国学者

塙保己

日本

る国学者として活躍

現在の本庄市児玉町保木

・整理を開始 も及ぶ国書 「群書類従」を完成させま

古

の成月を

48歳の時には、 数々の

多くの門弟を育成し を乗り越え、 えた 国学者・ 化の歴史に光明を与 は本庄市が世界に 盲目であり



塙保己一旧宅

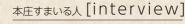
保己一が15歳まで過ごした家。入母屋 造りの茅葺き2階建ての民家で、国の 史跡に指定されています。



塙保己一像 旅立ちの朝

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会により、塙保己 一没後195年記念事業として、本庄早稲田駅前 に設置された、"江戸に旅立つ15歳の保己一像"。

Hokiichi Hanawa played an active role as Japan's leading scholar of the Japanese classics in the Edo Period. He lost his eyesight at the age of seven, and went to Edo to start his career as Japan's leading scholar of the Japanese classics at the age of 15. From age 34 to 74, he spent time completing 666 volumes of National Literature, "Gunsho Ruijū." Honjo City is proud of Hokiichi Hanawa, the world-class figure who devoted himself to the development of the Japanese classics and accomplished big projects aiming "for the good of the world and the good of the future."



総検校塙保己一先生遺徳顕彰会 事業部会長 根岸 久さん

盲目というハンディキャップを抱えな がら、学問を志すというのは超人的な ことです。子どもたちに塙保己一先生 が成し遂げたこと、そして、その偉大さ を知ってもらうことで、わが故郷に誇 りを持ってもらえたらと思っています。 保己一先生を後世まで顕彰していくた め、これからも地道な活動を続けてい



